

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 49
R5. 8. 25

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~ (文責:校長 菅家 篤)

子どもたち一人一人が、日々精一杯やってきたことを発揮し、 集団の中で自分ができることを見つけ、それを伸ばしていく2学期

猛暑の夏休みとなりましたが、全員が事故なく無事に夏休みを過ごすことができましたこと、ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。夏休み中、花壇やプランターの花に水やりをしたり、草むしりをしたり、当番としての役目を一生懸命に果たす子どもたちの姿を見るにつけ、「磐梯一小の子どもたちはやっぱり素晴らしいな」と感じました。猛暑は衰えることなく、夏休みが終わっても暑い日が続いていますが、子どもたちの健康と安全を第一に考え、熱中症防止に十分配慮し、学校生活を送らせたいと思います。

さて、2学期は、創立150周年記念イベントやほたるっ子発表会、マラソン記録会などの行事があり、集団の中で自分ができることを見つけ、それを伸ばしていく機会がたくさんあります。こうした機会は、子どもたち一人一人が日々精一杯やってきたことが発揮される場です。集団の中で自分ができること（集団の中で自分がどう貢献するか）を見つけ、どう関わっていけばよいかを体験的に学びながら、自分の成長を実感できる機会にしたいと思います。保護者の皆様のご期待や願いを受け止め、教育活動に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

プラス・ワン
+ 1

を意識して生活しよう! ~始業式で話したこと~

始業式で次のことを子どもたちに話しました。

「こうやってあげた方が、嬉しいかな」「こうしたら、もっとよくなるかな」

そう考えて行動することで、どんどん学級や学校がよくなります。

例えば、登校時、見守り隊の方よりも“先に”あいさつする。

「いつもありがとうございます」の“ひと言”を添える。などです。

このように、“もうひと工夫” “もうひと頑張り”することで、よりよい成果が得られます。仲間と自分の幸せをつくるために、2学期は「プラス・ワン」を意識して生活しましょう。

2学期は、ワンランク上のハピネスクリエーターを育てていきたいと思います。



食について親子で考える機会に

~毎日がお弁当の日~

共同調理場の改修工事により、10月末まで給食を提供することができないため、毎日が弁当持参となります。保護者の皆様には、弁当作りのお手間をとらせることとなりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

「お弁当」の良さとして、主に次のことが挙げられます。

☆我が子の好みや体調等を考慮したメニューや量を各家庭の裁量によって決められる。

☆親子のコミュニケーションツールとしての役割を持つ。

毎日のお弁当作りは本当に大変だと思いますが、親子で一緒に献立を考え、食材を購入したり、一緒に作ったりすることを通して、自分の健康を考え、食にかかわる人への感謝の気持ちを育む機会にしていいただければ幸いです。

※裏面に続きます。(お弁当が傷まない工夫について)



なお、暑い日が続く見込みですので、お弁当が傷まないように、各ご家庭で工夫していただきたいと思ひます。

《参考》 お弁当が傷まないようにする工夫

- ・ 傷みにくい食材・おかずを入れる。
- ・ 水分の多いものは避ける。(汁気をとる)
- ・ 食材にしっかり熱を通す。
- ・ 冷凍したものを保冷剤代わりにする。
- ・ 完全に冷ましてから詰める・蓋をする。
- ・ 保冷剤・保冷バッグなどを活用する。



学校でも、涼しい場所でお弁当を保管するようにします。ご協力よろしくお願ひいたします。